

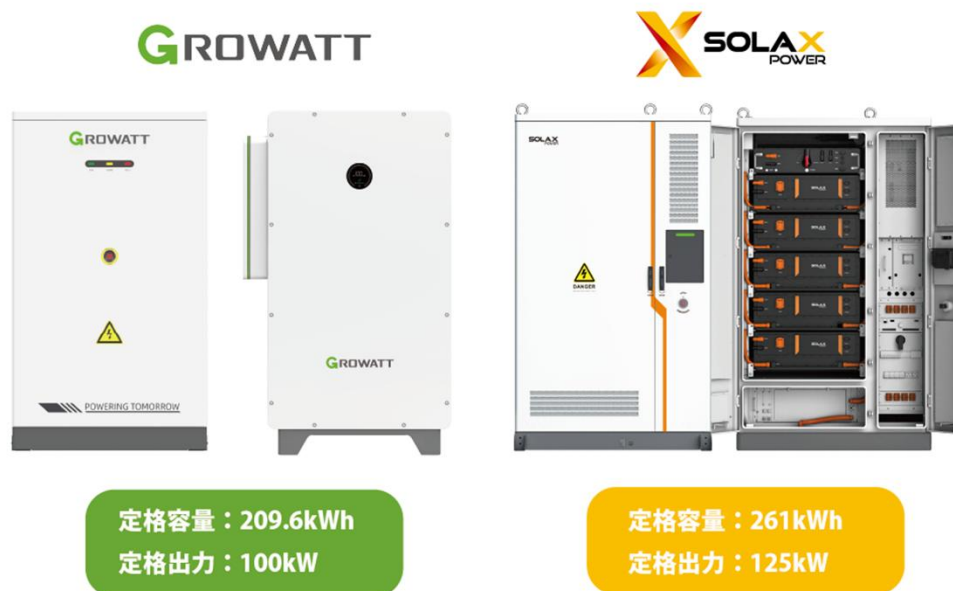
2026 年 5 月 22 日  
株式会社リミックスポイント

## 経産省推進の DR 事業における小売電気事業者登録完了 補助金を活用し業務産業用蓄電システムの導入を支援 ～電気代高騰や価格変動リスクに対応した効率的な電力運用をサポート～

株式会社リミックスポイント（証券コード：3825、本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：高橋由彦、以下「当社」）は、経済産業省が推進する「令和 7 年度補正 業務産業用蓄電システム導入支援事業※<sup>1</sup>」において、DR メニューを提供する小売電気事業者※<sup>2</sup>として登録されました。

通常、業務産業用蓄電システムの導入には数千万円規模の初期費用がかかりますが、「リミックスでんき」が提供する高圧向け市場連動型電力プラン「JEPX スタンダードプラン」のご契約と、本事業の対象となる当社取り扱いの蓄電システムをセットでご採用いただくことで補助金を活用でき、初期費用負担の軽減が可能となります。

当社は DR（ディマンドリスポンス）※<sup>3</sup>を活用した電力サービスの提供を通じて、日本のエネルギー課題である電力の安定供給に貢献してまいります。



※<sup>1</sup> 本事業は、令和 7 年度補正「再生可能エネルギー導入拡大・分散型エネルギーリソース導入支援等事業費補助金」の一環として実施されています。再生可能エネルギーの更なる普及や電力需給の安定化を目的として、DR に利用可能な設備導入を補助する経済産業省の支援事業です。

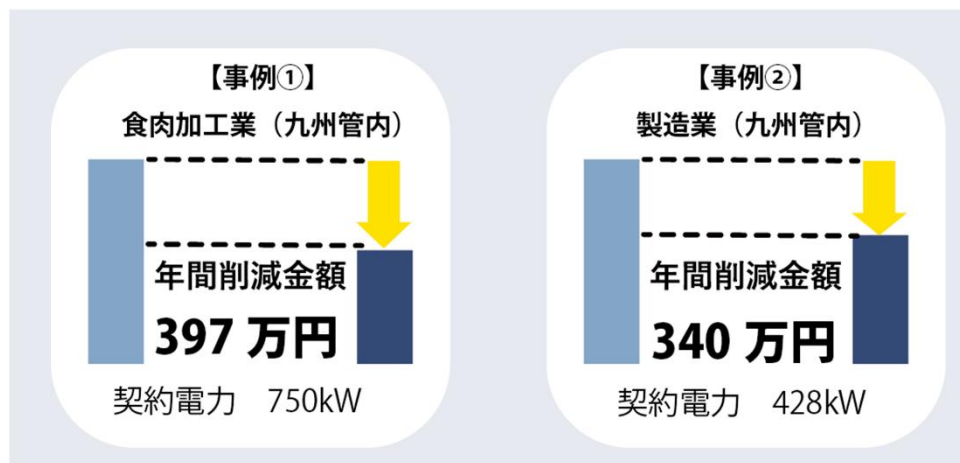
※<sup>2</sup> 2026 年 4 月 15 日時点。本事業における登録小売電気事業者一覧は以下をご参照ください。

[https://sii.or.jp/DRchikudenchigyouzan07r/retailers\\_list.html](https://sii.or.jp/DRchikudenchigyouzan07r/retailers_list.html)

※<sup>3</sup> 消費者が賢く電力使用量を制御することで、電力需給バランスを調整する仕組み

## ■エネルギー概況について

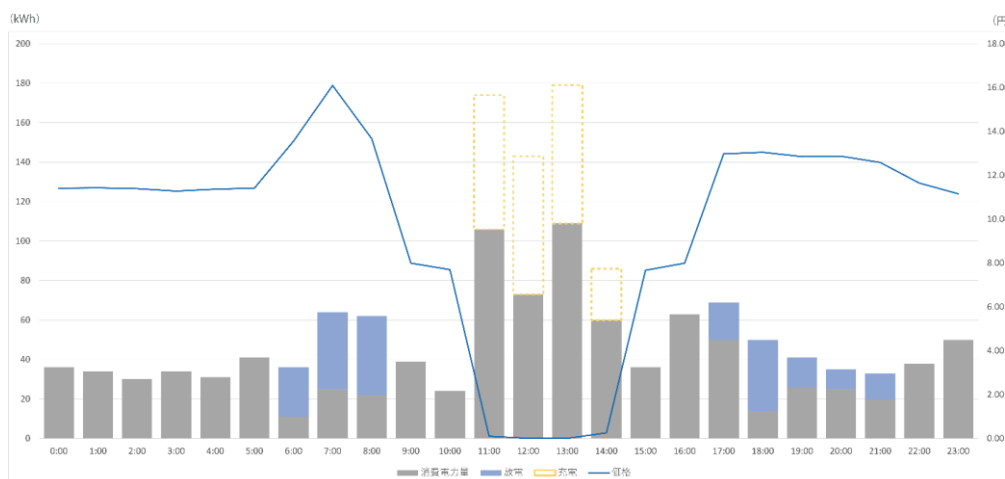
現在、日本は中東情勢の影響を受け、石油や液化天然ガス（LNG）の調達価格が上昇し、日本卸電力取引所（以下「JEPX」）における取引単価も高騰しています。市場連動型電力プランは、JEPXで提示される30分毎の市場価格に応じて電気料金変動する仕組みです。太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの発電量が増える日中の時間帯や、電力需要が少ない時間帯には市場価格が下がる反面、現在のような概況下では価格高騰リスクも伴います。一方、再生可能エネルギー由来の電力供給量が多く、市場価格が比較的安定している九州・四国エリアにおいては、このような情勢下でも価格メリットが見込まれやすい傾向があります。例えば、九州電力管内における2026年4月以降の市場価格を基準に、以下2つの事例でシミュレーション試算を行った結果、契約電力750kWの食肉加工業では約397万円、契約電力428kWの製造業では約340万円の年間電気料金削減効果が試算されました。特に、契約電力量が大きい業態ほど、価格メリットを得やすい傾向にあります。



## ■当社 DR サービスの概要

DR（ディマンドリスポンス）とは、電力需給がひっ迫した際に、お客さまが電力使用量を制御することで、電力需給の調整を図る仕組みです。

当社 DR サービスでは、対象機器として SolaX Power 製および Growatt 製の2種類の蓄電システムを取り扱っており、お客さまのご利用状況に応じた機器をご提案いたします。各機器は市場価格に応じて自動で充放電を行うため、複雑な操作を必要とせず、効率的な電力制御が可能です。特に市場連動型電力プランをご契約中のお客さまにおいては、電力価格高騰時のリスク抑制に加え、蓄電システム導入による経済的メリットも期待できます。



## ■蓄電システム導入による主なメリット

本サービスでは、以下のようなメリットが期待できます。高額な初期費用を要する蓄電システムについても、補助金制度や税制優遇を活用することで、導入負担の軽減が可能です。

### 1. 市場連動型電力プランによる価格高騰リスクを抑制

市場価格に連動して電力料金が時間帯ごとに変動する「市場連動型電力プラン」は、従来の固定単価型電力プランと比べて電力コストを抑えられる効果が期待できる一方、市場価格が高騰した際には電力料金が上昇するリスクがあります。こうした課題に対し、市場連動型電力プランに蓄電システムを組み合わせることで、電力価格が安い時間帯に充電し、高い時間帯に放電することが可能となり、**価格高騰リスクの抑制と電力料金の削減が期待**できます。

※すべての企業様に一律でメリットがあるものではありません。市場価格や導入効果は、電力使用状況・契約条件・エリア等により異なります。

### 2. 税制優遇により中小企業経営の税制面の負担を軽減

企業の生産性向上などを目的とし、中小企業の設備投資を支援する制度として「中小企業経営強化税制」があります。原則、企業が設備投資を行う場合は全額を一度に経費とせず、設備の耐用年数に応じて分割して計上されますが、**即時償却が可能となることで、企業の税制面での負担が軽減**されます。

### 3. 当社独自の支援策「蓄電池割」により設備導入後の月額コストを軽減

蓄電システムは初期費用に加え、運用・管理に伴う維持費用や充電にかかる電気代が発生します。当社独自の支援策「蓄電池割」では、蓄電システムの設置台数に応じて、充電にかかる電気代の一部を当社が負担し、導入後の月額コスト軽減を支援します。なお、**蓄電システム 1 台あたり年間 102 万円を定額で割引**します。

### 4. 補助金制度の活用により初期費用負担を軽減

経済産業省が推進する「令和 7 年度補正 業務産業用蓄電システム導入支援事業」により、**補助率 1/3 の補助金を活用**することが可能です。

※本補助金を小売型で申請する場合、本補助金に登録された小売電気事業者が提供する登録 DR メニュー（DR 電力プラン）への加入が必要となります。

※補助金の交付には所定の条件・審査があり、予算状況等により交付されない場合があります。

以下に該当する企業様は、導入メリットが見込まれる可能性があります。まずは当社の無料シミュレーションをご活用ください。

- ✓ 既に市場連動型電力プランをご利用中
- ✓ 電力コストの変動リスクを抑制したい
- ✓ 電力使用量の多い事業を運営している  
（製造業・倉庫・冷凍冷蔵設備など）
- ✓ 九州や四国エリアなど市場価格が比較的安定している地域

## ■リミックスポイントについて

リミックスポイントは、社会と環境へ新しいスタンダードの提供を目指し、脱炭素社会の実現に取り組む東証スタンダード上場企業です。主力とする電力小売業をはじめ、補助金・省エネコンサルティング、蓄電池などの多角的な事業を展開。カーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー活用全般に幅広く取り組んでいます。さらに、2024年からは円に代わる資産としてビットコインを中心とした暗号資産の備蓄を開始し、現在は国内有数のビットコイン保有企業としても注目されています。リミックスポイントグループでは、エネルギー分野と暗号資産分野の知見を活かし、「エネルギー×デジタルアセット」の両軸から、持続可能な社会の実現に貢献するサービス・事業を展開してまいります。

これからのリミックスポイントグループの取り組みにご期待ください。

公式サイト：<https://www.remixpoint.co.jp/>

DR 補助金を活用した蓄電池導入サポート：

<https://chikuden-solution.remixpoint.co.jp/subsidy-home/>

X（旧 Twitter）：[https://x.com/remixpoint\\_x](https://x.com/remixpoint_x)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社リミックスポイント

広報窓口

mail：[communication@remixpoint.co.jp](mailto:communication@remixpoint.co.jp)